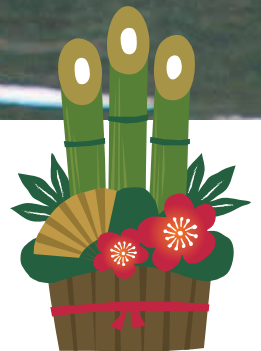
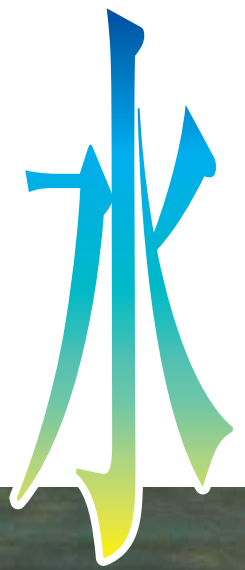


No.92

平成31年1月号

よみがえる

【KJKだより】



公益
社団法人

香川県浄化槽協会

写真：カイツブリ

写真提供：安永 修 氏



新年のごあいさつ

公益社団法人
香川県浄化槽協会

会長 山本 忠文

平成31年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

旧年中は会員各位並びに関係行政機関をはじめ関係団体の皆様方より、当協会の事業各般に亘る格別のご理解とご指導を賜り、厚く御礼を申し上げます。

皆様方のご協力により継続的に浄化槽台帳の整備、11条法定検査未受検者への受検啓発、さらには検査の効率化などに最善の努力を傾けて参りました結果、平成29年度11条法定検査受検率が50.6%となり当面の目標であった受検率50%を達成することができました。今後も全職員新たな気持ちで、更に高い目標を定め今年も前進して参ります。

これまで継続的に進めて参りました浄化槽台帳の整備については、引き続き検査案内の宛先が不明となっている施設や休止状態となっている施設の浄化槽に実態調査を行い、各関係行政機関と密に連携しながら常に正確な台帳を維持するように台帳の整備に努めていきたいと考えております。

環境教育にも力を入れ、昨年サンメッセ香川で開催された県主催の「かがわ未来へつなぐ環境学習会2018」に参加させて頂きました。貴重な資源である水の大切さについて体験を通じて考えて頂くことができ、未来を担う子供たちをはじめ様々な年代の多数の方に当協会のブースに足を運んでいただきました。今年もより一層、環境教育の充実を図ると同時に浄化槽の普及啓発事業についても力を入れて参りたいと考えております。

ご存知のとおり、合併処理浄化槽は下水道と比べても遜色のない污水处理能力を有し、安価で災

害にも強く、短期間で設置が可能です。昨年は日本各地で大規模な災害が発生した一年でしたが、各地での被害を見るにつけ、災害に強い合併処理浄化槽に対する認識が更に深まってきました。

環境省は平成29年度より一般社団法人 全国浄化槽団体連合会（全浄連）を執行団体として、既存大型浄化槽に係る省CO₂型高度化設備導入・改修費の1/2を補助する、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金事業（省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業）を行っており、平成31年度の予算概算要求では昨年度予算である10億円から、さらに増額となる20億円の予算要求となっております。持続的な污水处理システムの構築を進めていくうえで、合併処理浄化槽は今後ますます重要な役割を担うものとして、その普及が期待されております。

当協会は行政機関各位のご指導の下、平成30年度より11条法定検査手数料の引き下げを実施しました。今後も浄化槽の維持管理に係る個人負担の軽減と公的補助のさらなる拡大に向けても積極的に取り組みます。そして不適正浄化槽の根絶と維持管理の適正化を進めて参ります。

今年は天皇陛下ご譲位により平成から次の時代への幕開けの年となります。今後も関係機関と連携し、新しい時代に地域の豊かな生活環境の確保に貢献できるよう、水環境保全の一翼を担う公益法人としての使命感を持って協会一丸となって取り組む決意で事業に邁進してまいります。

最後になりましたが、会員各位並びに関係者皆様のご健勝と益々のご発展をご祈念申し上げますとともに、当協会への倍旧のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

香川県環境森林部

部長 中村 貴紀

新年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様方には、本県の環境行政の推進について、平素から格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、香川県は、南に讃岐山脈が連なり、北に開けた讃岐平野には、おむすび型の里山やため池が点在し、その先には、「世界の宝石」と称される瀬戸内海が広がるなど、豊かで特徴ある自然に恵まれています。しかし一方では、温暖少雨の気候に加え、狭い土地を高度に利用しているため、河川などの公共用水域が水質汚濁の影響を受けやすい状況にあります。

そこで県では、公共用水域の水質改善と県民が快適で衛生的な生活を実感できる環境づくりを目指して、平成28年3月に、平成37年度を目標年次とした「第4次香川県全県域生活排水処理構想」を策定し、生活排水処理施設の効率的かつ計画的な整備に取り組んでいます。

合併処理浄化槽につきましては、本県における生活排水処理施設の重要な柱の1つとして、積極的に整備を進めており、平成29年度末の合併処理浄化槽の普及率は30.1%と、全国平均9.2%を大幅に上回っています。

また、浄化槽がその機能を正しく発揮するためには、適正な維持管理を行う必要があり、浄化槽管理者には、保守点検や清掃の実施とともに、法定検査の受検が義務付けられています。

平成29年度の11条法定検査の受検率は50.6%になる見込みであり、指定検査機関である貴協会のご努力により年々向上している状況です。県では、引き続き市町や貴協会と連携しながら、構想の実現に向けて、合併処理浄化槽への転換を促進するとともに、さらなる受検率の向上を図りたいと考えております。

貴協会及び会員の皆様方におかれましては、浄化槽の適正な設置や維持管理の促進を通じて、県民の安心で快適な生活環境の確保に、なお一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

結びに、貴協会の今後ますますの御発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

高松市都市整備局

局長 石垣 恵三

平成31年の新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素より本市の生活排水対策の推進に格別の御尽力と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会は、浄化槽法に規定されております法定検査を実施する県内唯一の検査機関として、日頃より浄化槽の普及促進や維持管理、また、法定検査の受検推進に関する各種啓発活動に積極的に取り組まれ、公衆衛生の向上に多大な御貢献をされておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、本市では、平成30年4月に水道事業の広域化に伴い、浄化槽業務を担当する下水道部を市長部門の都市整備局に編入し、引き続き、貴協会や香川県と連携しながら、汚水処理人口普及率の向上に努めているところでございます。

しかしながら、本市の汚水処理人口普及率は、上昇傾向にあるものの、全国平均に比べますと依然として低い水準にあり、また、浄化槽の維持管理につきましても、貴協会の御努力により、11条法定検査の受検率が前年度から増加しているものの、浄化槽の適正な管理を促すうえで、受検率の更なる向上が重要な課題であると認識しております。

このような中、本市では、「第4次高松市生活排水対策推進計画」に基づき、公共下水道と合併処理浄化槽により、計画的かつ効率的に生活排水処理施設を整備することとしており、合併処理浄化槽の新たな設置はもとより、単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換についても、積極的に取り組んでいるところでございます。

この取組をさらに推進するためには、貴協会を始め、関係業界の皆様方の更なる御理解と御協力、連携強化が不可欠であると存じておりますので、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員皆様の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

第32回全国浄化槽大会が開催された

平成30年10月1日(月)、浄化槽関係16団体で構成する「浄化槽の日」実行委員会は、東京・飯田橋のホテルグランドパレスで第32回全国浄化槽大会を開催した。

全国から約800名の関係者が出席し、浄化槽適正整備推進決議の採択や浄化槽功労者の表彰が行われた。当協会からは香西理事が環境大臣表彰、青田理事が国土交通省土地・建設産業局長表彰を受賞された。記念講演では、一般社団法人Water-n代表理事の奥田早希子氏が「生活者目線で考える水インフラ」と題して講演が行われた。大会後に行われた懇親会には中川雅治環境大臣など、多くの国会議員が駆けつけ懇親を深めた。



おめでとうございます



(株)三木山田清掃
香西 岩男氏
環境大臣表彰

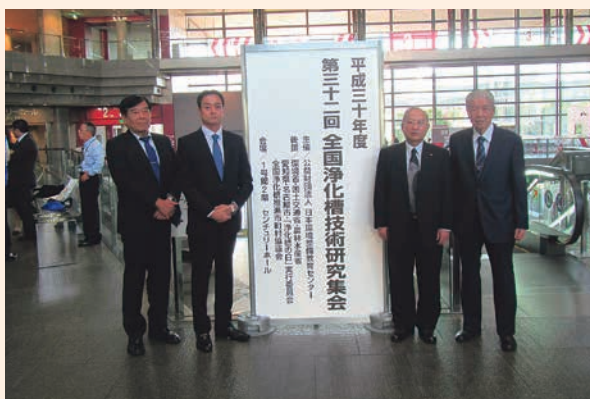


(有)アクアシステム
青田 健二氏
国土交通省土地・建設産業局長表彰

第32回全国浄化槽技術研究集会開催される

平成30年10月9日(火)、10日(水)、公益財団法人日本環境整備教育センター主催の「全国浄化槽技術研究集会」が名古屋市の名古屋国際会議場で開催された。

9日は研究発表、式典、特別講演、懇親会、10日は浄化槽行政担当者研究会、浄化槽検査員研究集会が行われた。両日合わせて延べ1400名の関係者が全国から参加し、行政や国会からも多数の来賓が出席した。



平成30年度浄化槽管理士研修会開催される

平成30年10月23日(火)、高松テルサにて、香川県及び高松市共催の浄化槽管理士研修会が開催された。講師に、公益財団法人日本環境整備教育センター 調査・研究グループ調査役の久川和彦氏を迎え、「性能評価型浄化槽の動向と維持管理の課題」と題して講演が行われた。参加者は最近の浄化槽の動向と維持管理に関する内容に熱心に聴き入っていた。



平成30年度九州地区浄化槽検査員研修会に参加

平成30年11月30日(金)、福岡市内の八仙閣にて平成30年度九州地区浄化槽法定検査員研修会が開催された。九州地区からは73名が出席し、四国地区からは、当協会からの2名を含め9名が参加した。九州地区浄化槽指定検査機関協議会副会長の一般財団法人長崎県浄化槽協会理事長 濱田尚武氏が開会のことばを述べた後、九州地区浄化槽指定検査機関協議会会長の一般財団法人福岡県浄化槽協会 検査部長兼筑豊検査センター所長 坂井義博氏が主催者挨拶を行った。その後、各県の研究発表では、8テーマについて発表を行い、懇親会では情報交換を行うなど、今後の検査業務に役立つ研修会となった。



平成30年度浄化槽整備事業市町職員研修者会が開催される

平成30年10月2日(火)、香川県合併処理浄化槽推進協議会は、浄化槽設置整備事業における完了検査業務の技術を各市町の担当職員が習得するために、多度津町で市町職員研修会（現地研修）を実施した。当協会からは検査第1課7条・竣工係の宮宇地係長と太田主任が講師として出席した。

また、平成30年10月17日(水)には、当協会2階大会議室にて講習会を実施した。

講師に全国浄化槽推進市町村協議会 事務局長 高橋康浩氏を迎え、「浄化槽関係法令」、「浄化槽の施工」、「浄化槽の維持管理について」、「最近の浄化槽行政の動向」、「浄化槽の法定検査等」、「浄化槽における災害時の対応」について講習を行った。当協会からは宮川検査第1課長と入道業務課長が講師として出席した。



平成30年度浄化槽保守点検技術向上現場研修会を開催

平成30年11月6日(月)、香川県の委託事業である浄化槽維持管理強化指導業務の一環として、浄化槽保守点検業者を対象とした保守点検技術向上現場研修会を、高松市内にて開催した。

午前中は、講師に公益財団法人日本環境整備教育センター 調査・研究グループ グループリーダーの仁木圭三氏を迎え、「小型浄化槽の構造と維持管理について」をテーマに、川岡コミュニティセンターにて講習を行なった。

また、午後からは現場研修としてJA香川県川岡出張所の浄化槽について、維持管理を行う上での留意点について説明を行なった。その後、比色法による水質分析器具を使用して硝酸やアンモニウムを測定する実習を行った。

参加者からはたくさんの質問が飛び交い、大変有意義な現場研修会となった。



善通寺農商工夢フェスタ2018

平成30年10月21日(土)、22日(日)、善通寺農商工夢フェスタ2018に参加した。

浄化槽の維持管理に関する内容を大型モニターで視聴するミニ講座、浄化槽普及啓発パネルの展示、浄化槽の維持管理に関するクイズ、浄化槽相談コーナーなどによる浄化槽の普及啓発活動を行なった。今年は浄化槽の設置届を提出後約3年以内の方を対象に行っている浄化槽教室も事前に案内を送付し、イベント会場での開催を行った。2日間で浄化槽教室受講者が20名、浄化槽ミニ講座視聴者が81名、子供を対象とした水環境クイズには80名が挑戦した。



水環境を守ろう ～高松市で環境教室開催～

平成30年11月21日(水)、協会は、フジクリーン工業株式会社と協力し、高松市立下笠居小学校で4年生38名を対象に、環境教育を行なった。

生徒たちは、水の大切さや水の循環と使った水の行方等について説明を受け、パネルを用いて生活排水をきれいにする浄化槽のしくみを学んだ。実験では、比色法による水質分析器具や透視度計を用いて「住吉川の水」と「亀水川の水」を測定し、2つの川を比べてみた。この結果、住宅が密集している川の方が汚れていることが分かり、生徒達は、「家庭から出る生活排水が川や海がよごれる原因になること」を学んだ。



協会では、次世代を担う子供たちに水の大切さを知ってもらい、限りある水を守るためには何が必要かを学んでもらう趣旨で、平成20年度より環境教室を開催しています。

小・中学校、PTA、自治会などの団体で、開催のご希望があれば、当協会までお気軽にお問い合わせください。

しらべてみよう水 ～体験型環境学習実施～

平成30年10月26日(金)、高松市立川東小学校で4年生55名を対象に、環境学習を実施した。水の大切さや水環境についての説明や、生活排水をきれいにする合併浄化槽の仕組みについて説明を行なった。実験では学校近くに流れる川の水を、比色法による水質分析器具や透視度計を用いて測定したり、顕微鏡による微生物観察を行なった。

体験しながら楽しく学べる環境学習となり、先生からは「子供にとって、一生の思い出に残ると思います」との言葉をいただいた。

この環境教育は、香川県環境森林部環境政策課が実施する「体験型環境学習プログラム実施事業」の一環で、平成28年度より体験型環境学習プログラム実施団体として当協会が実施しているものである。



とらまる人形劇カーニバル2018に参加

平成30年10月28日(日)、人形劇場とらまる座と、とらまる公園各施設で行われたとらまる人形劇カーニバル実行委員会が主催する『とらまる人形劇カーニバル2018』に、香川県環境森林部環境政策課より出展依頼があり参加した。出展内容は、子供たちに水の大切さを知ってもらうため、パネル「めぐる水」の展示や、保冷剤と空き容器で作る「香るパフェ」などのリサイクル工作、魚の形をした厚紙に自分たちでできることを環境宣言的に書き込み、表の面をマーブリングで模様付けする「わくわくマーブリング」などを行った。親子で話し合いながら環境宣言を書いている風景も見られ、水環境について考えながら楽しく工作ができるブースとなった。当協会のブース来場者は156名であった。



協会のうごき

10月～12月

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 10月1日 第32回全国浄化槽大会 | 11月19日 不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所） |
| 10月2日 全浄連第23回理事会 | 11月20日 浄化槽教室（坂出市） |
| 平成30年度市町職員研修会（多度津町） | 茨城県水質保全協会来所 |
| 平成30年度第4回KJK幹事会 | 11月21日 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） |
| 10月3日 不適正浄化槽立入指導（香川県西讃保健福祉事務所） | 建産連理事会 |
| 10月4日 職員研修会（管理職） | 11月26日 不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所） |
| 10月5日 徳島県環境技術センター来所 | 11月27日 平成30年度第2回検査室建設検討委員会 |
| 10月9日～10月10日 第32回全国浄化槽技術研究集会（愛知県） | 11月28日 不適正浄化槽立入指導（高松市都市整備局） |
| 10月11日 浄化槽教室（三豊市） | 11月29日 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） |
| 10月17日 平成30年度市町職員研修会（協会大会議室） | 11月30日 四国地区協議会九州地区検査員研修会（福岡県） |
| 10月19日 第16回KJK会ゴルフコンペ（満濃ヒルズCC） | 12月3日 平成30年度第3回会長・副会長会 |
| 10月20日～10月21日 善通寺農商工夢フェスタ2018 | 平成30年度第1回法定検査結果検討委員会及び |
| 10月23日 平成30年度浄化槽管理士研修会（高松テルサ） | 県・高松市・善通寺市・協会業務推進会議 |
| 10月24日 不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所） | 平成30年度第4回理事会 |
| 10月25日 不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所） | 平成30年度第1回香川県浄化槽機能保証制度審査委員会 |
| 10月28日 とらまる人形劇カーニバル2018（ブース出展） | 12月5日 浄化槽教室（観音寺市） |
| 10月29日 不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所） | 12月6日 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） |
| 10月30日 平成30年度産業保健研修会（丸亀市） | 12月10日 不適正浄化槽立入指導（香川県西讃保健福祉事務所） |
| 不適正浄化槽立入指導（高松市都市整備局） | 12月15日 浄化槽教室（丸亀市） |
| 10月31日 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） | 12月18日 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） |
| 11月3日 四国地区協議会ソフトボール大会（徳島） | 12月20日 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） |
| 11月4日 第40回琴南地区文化祭 | 12月21日 平成30年度第3回機関紙編集委員会 |
| 11月5日 平成30年度第1回検査室建設検討委員会 | 12月25日 不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所） |
| 11月6日 浄化槽保守点検技術向上現場研修会（高松市） | 12月26日 不適正浄化槽立入指導（高松市都市整備局） |
| 11月7日 不適正浄化槽立入指導（香川県西讃保健福祉事務所） | 12月27日 浄化槽教室（綾川町） |

Golf Competition



ゴルフと私

株式会社ミネック

天野 洋平

当日は、絶好のゴルフ日和となり、第16回KJK会に参加できましたことうれしく思います。前回より少ない人数でしたが、楽しくプレーができました。

同伴者は、杉田さん、黒川さんとメンバーにも恵まれ、またハンディーキャップのおかげもあり、今大会で2度目の優勝をすることができました。次回の大会については、2連覇を目指し、練習したいと思います。最後になりましたが、幹事の方々、そして参加された協会会員の皆様、お疲れ様でした。



第16回 KJK会ゴルフコンペ結果報告 平成30年10月19日(金)

於：満濃ヒルズカントリー

《第16回KJK会ゴルフコンペ結果》

順位	参加者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	バスマ
1	天野 洋平	42	48	90	19.2	70.8	★
2	原 透	49	47	96	24.0	72.0	
3	山野 元春	45	46	91	15.6	75.4	
4	大野 敏	53	54	107	30.0	77.0	
5	遠藤 孝司	51	48	99	20.4	78.6	
6	宮武 幸雄	50	49	99	20.4	78.6	
7	前田 忠信	47	49	96	16.8	79.2	
8	木下 敏博	50	57	107	27.6	79.4	
9	由佐 慎吾	58	55	113	33.6	79.4	
10	岡本 吉幸	52	52	104	24.0	80.0	
11	塩田 定一	54	53	107	25.2	81.8	
12	杉田 陽一	51	54	105	19.2	85.8	
13	黒川 直弥	62	60	122	36.0	86.0	
14	香西 淳史	66	66	132	36.0	96.0	

琴南地区文化祭

平成30年11月4日(日)、
「第40回琴南文化祭」に参加し、パネル展示による浄化槽の普及啓発活動を行った。浄化槽ガイドブックや法定検査に関するチラシなど、自由に持ち帰れるようにした。



第11回 親睦ソフトボール大会プレイボール

平成30年11月3日(土)、浄化槽法指定検査機関四国地区協議会の第11回親睦ソフトボール大会が、徳島県の吉野川河畔ふれあい広場で開催された。当協会からは香川局長をはじめ22名が参加した。

開会式では、開催県である公益社団法人徳島県環境技術センターの吉村会長がご挨拶を行った後、試合開始となった。優勝は愛媛県で、香川県は2連覇をめざして頑張ったが、2勝1敗で準優勝となった。試合後の懇親会では四国地区協議会会長でもある山条会長も駆けつけ挨拶を行った。来年は香川県での開催予定である。



編集後記

平成最後の年が明け、いつもより長めの正月休みをやや持て余し気味に、わたしは分厚いばかりでほとんど読むところのない新聞を枕に炬燵でごろごろしていた。が、はす向かいに座るカミさんが何やら言いたげである。その思案顔に「掃除」の二文字の気配があるのは、年末の忙しさにかこつけて掃除の一切を彼女に任せていたことに感謝の念を心に唱えつつ、この場から逃げ出す算段を瞬間的に思いついたことと言うまでもない。

「ちょっと行つてくる」

「どこへ」

「…ウオーキング」

「は？」

というわけで、年末に摂取したアルコールと炭水化物と脂肪分を燃焼してくれる、という真つ当な言い訳をして家を出たわたしはイオンモール綾川へと向かった。なぜイオンなのか？イオンでは「イオンモールウォーキング」と題したプランを提唱していて、一階から三階までくまなく歩くと

約一、七〇〇mあり、消費カロリーは約七十七キロカロリだそう。これがどのくらい効果があるのかは置いて、寒い中たんぽのあぜ道を歩くよりは楽しいだろう。

なるほど、たまには一人でショッピングモールをあちこち覗いて回るのもいいものだ。カミさんと一緒に商品を手にとって見るだけで「…？」とか「…！」とか一々うるさいが今日は自由である。が一応「ウオーキング」もしなければならぬ。冬場でも西日本のイオンでは暖房は入れていないというが、三往復くらいすると人いきれで少し汗もかいてきた。腹も減った。なにか食べよう？

結局、歩いたせいであんなにおにぎり二つとてんぷら三つと、普段よりも食べてしまい、セーターとバッグを衝動買いしたせいだ、というオチが付いたところで、この辺で。皆さん今年もよろしくお願ひ申し上げます。

(有)森清掃社 堀家 真大

●機関紙編集委員●

- 三好光信 (株)ハウステック高松営業所
- 小島真治 (株)フソウ四国支店
- 山崎健一 シコク環境ビジネス(株)
- 堀家真大 (有)森清掃社

○印は、委員長です

「よみがえる水」No.92

- 発行年月 平成31年1月
- 発行所 公益社団法人 香川県浄化槽協会
〒761-8012 高松市香西本町1番地106
TEL(087)881-6600 FAX(087)881-6670
- 発行責任者 会長 山条 忠文
- ホームページ <http://www.kagawajk.jp>
- Eメール kjc@shirt.ocn.ne.jp